

令和7年12月15日

意見発表

◆亀井たかつぐ委員

公明党神奈川県議団としまして、当委員会に付託をされた諸議案等について意見、要望を申し述べます。

まず、相模川中津川洪水浸水想定区域図の誤りについてです。

このたびの相模川及び中津川における洪水浸水想定区域図、特に家屋倒壊等氾濫想定区域の過大設定という重大な誤りは、沿線住民の生命と財産に係る行政情報への信頼を著しく損なうものであります。ついては、以下数点にわたって要望を申し上げます。

まずは、受託業者任せにせず県職員による技術的な検証体制、これを徹底していただいて責任の所在を明確にさせていただきたいと思えます。

次に、修正後の区域図の公表時期を明確にし、住民が旧図との違いを把握できる対照図等を併せて公表するなど、透明性の高い情報提供を徹底していただきたいと思えます。

次に、誤った情報によって生じた住民の心理的不安や避難計画、不動産取引への影響について、沿線市町と連携し、きめ細やかな説明会や個別の問合せ対応を強化していただきたいことを要望いたします。

次に、県立都市公園における指定管理者の指定の変更についてであります。

多くの県民に親しまれ、憩いの場となっている県立都市公園が、さらなる魅力向上をさせていくためには、Park-PFIなどの公民連携の導入は大切であると考えます。公園の特性や民間活力を生かせる柔軟な指定管理者制度となるよう、様々な業種の民間事業者にヒアリングを実施するなど、その結果を踏まえた適切な指定期間を設定するなど、しっかりと検討を進めていただくことを要望いたします。

以上、意見、要望を申し述べて、当委員会に付託された諸議案について賛成を表明して意見発表とさせていただきます。